

導入成功事例 No.28 レポート

ネットワーク型デジタコ DTS-F1A

竹下運送 有限会社 様



目に見える運転日報でドライバー教育。 とにかく「事故のない会社」を目指す。



主に乳製品などの冷凍・チルド品のセンター間輸送を行っている、竹下運送様。山陽地区から島根・鳥取の山陰2県へ、冷凍冷蔵庫車両20台で輸送しています。また、新聞輸送用にワンボックスカーも1台所有。21台の全車両にネットワーク型デジタコを搭載しています。

ネットワーク型デジタコ DTS-F1A

導入の きっかけ

「2005年、安全運転の徹底のために、先代の社長様が、富士通製のカード型デジタコを導入。以来、車両を変えても同じデジタコを載せ替え、使い続けられていた竹下運送様。「機能や使い勝手に不満もなく、しかも頑丈。壊れないので使っていたのですが新規購入したワンボックスカーに乗せる製品がないということで、一斉にネットワーク型デジタコ DTS-F1Aへ切り替えました」と、経緯をお話くださった、松浦社長様。違反運転や小さな事故も減っていると、導入効果をお感じです。



代表取締役 松浦 圭 様

USER PROFILE

竹下運送 有限会社

設立：1969年11月
本社所在地：島根県大田市大田町
TEL：0854-82-5211
代表者：代表取締役社長 松浦 圭
資本金：500万円
従業員数：31名
事業所数：1カ所

課題

- メモリカード運用が面倒
- 免許不携帯のうっかりミス
- 現在地や作業状況を電話確認

効果

- 運転日報自動作成、カード費用削減
- 免許読取りによる乗務員認識
- リアルタイムの動態把握、運行指示が可能



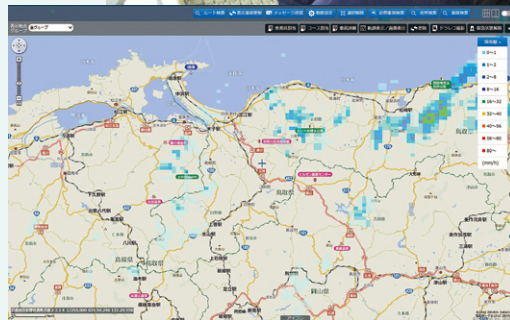
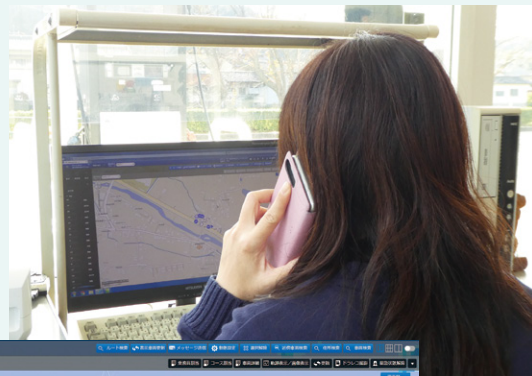
他のネットワーク型デジタコと念入りに比較。

デジタコのリプレースにあたっては、他社製品と性能・機能はもちろん、初期費用、ランニングコストまで見積もりをとって比較されました。その中で、車両に搭載済みの温度センサと簡単に接続できるなど、載せ替え後すぐに使えるDTS-F1Aが選ばれました。

動態把握のメリット 豪雨でも全車両の位置を把握、的確に指示。

2018年6月の導入翌月、西日本を襲った集中豪雨の時に威力を発揮したのが、動態把握です。「山陽・山陰を結ぶ道の道が通行可能かチェックして、運行ルートを細かくドライバーにアドバイスしました。現在地がはっきり分かるのでルート指示もより具体的でした」。ITP-WebService V2なら、雨雲の動きもチェックできます。天候の変化に合わせて、運行ルートの変更指示も可能です。

動態把握で現在地を確認して
運行ルートを細かくドライバーに指示することも



ITP-WebService V2で雨雲の動きもチェック可能

コストメリット 従来機種より燃費が向上。カードレスも魅力。

従来機種の導入後、燃費が約2割向上した竹下運送様。DTS-F1A導入後にもさらに燃費が向上しています。「当社は自家給油なので会社全体の燃料消費量が減っていることを実感しています。現在、細かい燃費管理はしていないのですが、1割くらいは改善していますね。非接触のメモリカードも価格が高いので、カードレスは魅力です」。

安全運転の徹底へ 運転成績上位者に給与に報奨金をプラス。

個人別安全運転順位表を毎月確認。月単位の運転成績上位者3名に、報奨金を給与にプラス。安全・経済運転への意識向上を図っています。「私がドライバーだった頃に、先代の社長がデジタコを最初に導入したのですが、正直に言うとイヤでした。でも、事故は起きてならないもの。目に見える運転日報などでドライバーに指導して、安全への意識づけを行っています」。

企業姿勢 とにかく事故のない会社を目指す。

「衝突防止などの安全面のオプションはすべて装備している」とお話しになる松浦社長様。「自己過失割合ゼロの事故でも、起きれば逸失利益はとても大きなものになり、積み重ねてきた収益が吹き飛んでしまうことも。そして万一お客様に迷惑をかけたままたら信頼までも失うことに。安全こそ第一なんです」。先代社長様からの理念をしっかり受け継いでいます。



開放的なオフィス



乳製品などの食品を輸送するトラック
キャビン、タイヤ、ホイールにも
清掃が行き届いている

●お問い合わせ先

■製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報サービス営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5024

http://www.transtron.com/

